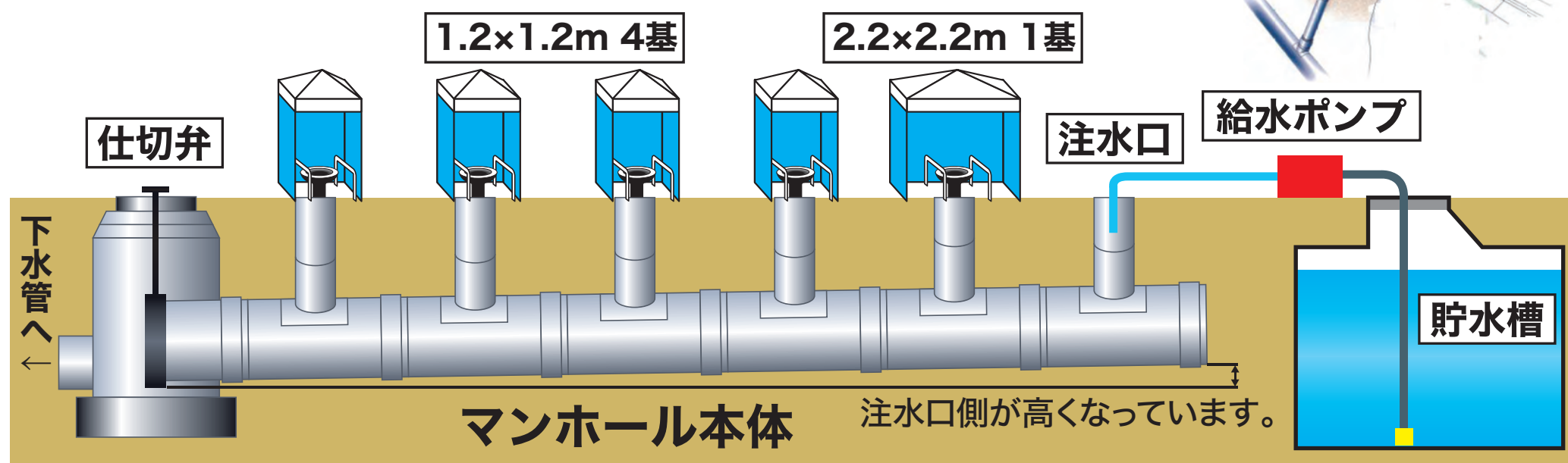


マンホール型防災トイレの設置方法

●マンホール型防災トイレの仕組み



※図は標準的なものです。設置場所により、トイレの配置や貯水槽の位置がことなる場所もあります。

災害用備蓄倉庫内備品一覧



- 上部テント
- ・1.2×1.2m 4基
- ・2.2×2.2m 1基



- 上部トイレ
- ・組立式洋式便器 5基



- 給水用ポンプ
- ・エンジンポンプ
- ・注水ホース
- ・給水ホース



- マンホールキー
- ・マンホールを開けるための道具



- マイナスドライバー
- ・フックの蓋を開けるためのもの

設置方法

マンホールを開け、便器（洋式）とテントを5基設置します。
※1基は車イスなどでも利用できる大型タイプ。



①マンホールの蓋を開ける



②内蓋を取る



③トイレ設置

※水洗式ではありません。



④テント設置



テントが飛ばないようにロープで固定するためのフック

⑤給水ポンプの設置

給水ポンプ式から「給水用ホース（短いホース）」を取り出し、ストレーナー（カゴ）が装着されている筒先を貯水槽へ沈める。反対側を給水用ポンプの所定の位置に装着する。次に、「注水用ホース（長いホース）」を取り出し、接続金具のある方を給水用ポンプに設置し、反対側を給水口へ向けてください。

マンホール型防災トイレの使用法

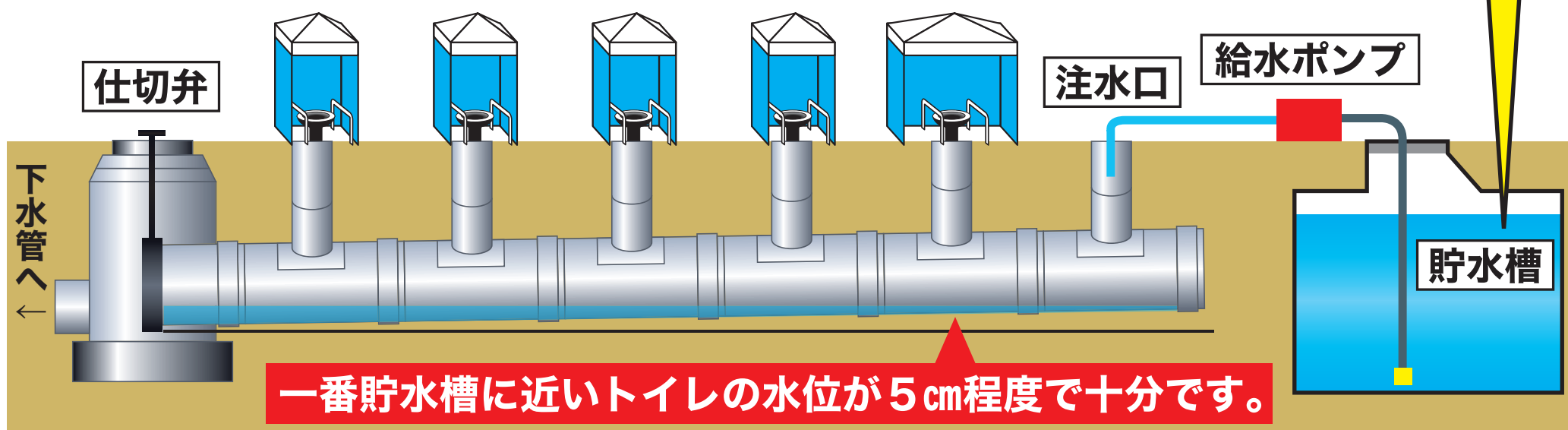
①注水の準備

給水用ポンプに付属の「エンジンオイル」と「ガソリン」を入れてください。
その後、エンジンを始動し、呼び水をしながら給水用ポンプが給水機能を果たしているかを確認します。

②水を貯める

仕切り弁がしっかり閉まっていることを確認し、
4～5分間給水ポンプを作動させ注水してください。

1日1回の注水で
約10日分の水が
あります。



③汚水を流す

マンホールトイレ内に溜まった汚水を**1日1回**仕切り弁を持ち上げて流します。



- ①仕切り弁用マンホールの小さい蓋を開ける。
- ②弁棒を写真のように両手でにぎり引き上げる。(引き上げている間、仕切り弁が開きます。)
※弁棒の下にマンホールキーを入ると下がらないよう固定することができます。
- ③汚水が流れ切ったら弁棒を下ろし仕切り弁を閉じて注水して使用する。
※排水中は水の流れる音が聞こえます。



●自動で仕切り弁から下水管へ流れ出ます

仕切り弁は使用時に最大水位になると自動的に仕切り弁の上部から下水管へ流す構造になっています。(これによりトイレに溢れません。)
一杯になっても仕切り弁を開けず、そのまま使用してください。
※排水すると注水が必要です。1日に何度も仕切り弁を開けると貯水槽の水が足りなくなります。